

## 府中町第4次障害者計画・第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画の改訂に係るパブリックコメント（意見募集手続制度）の結果

### 1. 意見募集の概要

(1) 実施期間 令和6年2月2日（金）～令和6年2月22日（木）

(2) 意見等の件数 8件（4人）

(3) 意見の分類と町の対応状況

対応区分	対応方針	件数
A	意見の趣旨が計画へ反映されたもの	5
B	意見の趣旨が既に計画へ反映されているもの	0
C	町政全般や個別具体の取り組みに対する意見であり、今後の事業推進にあたって検討または参考とするもの	3
D	意見の反映が困難なもの	
E	その他の意見	

## 2. 意見の概要と町の考え方

番号	該当箇所	意見の概要	意見に対する町の考え方	対応区分
1	P47	災害時の体制 災害時6割の方々が、一人で避難できないと回答している。早期に避難行動要支援者名簿を活用、町内会、民生委員、その他組織ぐるみで支援者を決めるべき、また個別支援計画書等に明記する。個人情報の取り扱い、支援者の身の安全等多々問題があるが、前進すべき。	P73の基本目標5基本施策(2)【施策の方向性】8行目において、「避難行動要支援者名簿の作成に向けて、登録の積極的な呼びかけや避難支援等関係者への名簿提供により避難行動支援を実施していますが、今後はこれに加え、新たに個別避難計画を着実に作成」することとしています。いただいたご意見を踏まえ、今後とも、障害のある人の防災対策を推進していきます。	C
2	P51	1基本理念の1行目・12行目の支えあい、も支え合いになるのでは？	ご指摘のとおり修正します。	A
3	P56	基本施策(2)11行目の包括的なネットワーク体制とは具体的にどのようなものを指すのか書かれているとわかりやすいと思いました。	いただいたご意見を踏まえ、次のとおり修正します。 【修正前】 包括的なネットワーク体制を活用し、サービスの利用者・提供者、あるいは活動を行う団体のいずれにおいても、きめ細かい情報の共有が可能となる体制づくりを目指すとともに、 【修正後】 サービスの利用者・提供者、あるいは活動を行う団体のいずれにおいても、きめ細かい情報の共有が可能となる包括的なネットワーク体制の構築を目指すとともに、	A
4	P61	地域移行支援の実施の中に③として、「新たな施設入所者を出さないために、地域で生活できる場所(グループホームなど)の確保を支援する」を入れてください。	P100「(3)居住系サービス」【計画値確保の方策】において「情報提供していくとともに、今後も関係機関と連携を図り、引き続き事業所の参入を促進していく」こととしております。 いただいたご意見を踏まえ、事業所と連携して要望に合った施設設置が進むよう取り組んでいきます。	C
5	P62	③地域生活支援 障害者のある人→障害のある人 に訂正をお願いします。	ご指摘のとおり修正します。	A
6	P100	居住系サービス 全体的に目標値を明記されているが、要望、希望の分母がわからない。 例 共同生活援助 令和5年30人 令和8年32人 生まれ育った地域でみんなと支えながら暮らす。地域での共生社会。希望、要望の分母はかなりあり3年間で2人増、かなり目標値が低いのでは。	ご指摘の数値は計画値と表現していますが、目標としての値ではなく、第6期の実績に基づいた第7期計画期間における見込値です。 なお、共同生活援助のサービスについては、事業所と連携して要望に合った施設設置が進むよう取り組んでいきます。	C

番号	該当箇所	意見の概要	意見に対する町の考え方	対応区分
7	P101	意思疎通支援事業の項目にある「認定手話通訳者」とは、正しくは「設置手話通訳者」ではないでしょうか。その場合、人数は「2」となっていますが、1つのポストを2人が交替で担当しているなら、正しくは「1」、または「2」（交替制）と表記すべきです。	ご指摘のとおりでしたので、次のとおり修正します。 ・「認定手話通訳者」を「手話通訳者設置事業」 ・実績人数、計画人数「2」を「1」	A
8	P101	手話奉仕員養成研修事業の実績値が、養成講座に関わった立場から少なすぎると感じました。事業担当に確認したところ、令和3年度「9」令和4年度「11」だったとわかりました。訂正をお願いします。	ご指摘のとおり修正します。	A